

平成 24 年度第 2 回恵那市市民評価委員会

議事録（要約版）

日時：平成 24 年 7 月 13 日（金）

午後 1 時 30 分から

場所：恵那文化センター展示会議室

-
- 1 委員長あいさつ
 - 2 会議の公開・会議録の公表について（確認）
〔異議なし〕
 - 3 議事
 - (1) 評価事業の選定について
 - (2) 評価の方法について
 - 4 その他 次回開催予定日について

出席者（敬称略）

【委員】市川美彦、大橋由美、柴英子、田口譲、柘植麻美、平野未帆、牧野香、宮地政臣、山田基

【オブザーバー】竹内泰夫

【事務局】企画部長 小嶋初夫、企画課長 千藤秀明 企画課係長 福平栄久、企画課総括主査 和田信之

欠席者 三輪哲司

1 委員長あいさつ

■委員長 まだ梅雨明けしていない。とりわけ九州地方では大きな被害が出ている。当地方では雨が降っているが被害は出ていない。また、旧恵那市の一部ではお盆である。そういった中、委員の皆様にはご出席いただき、今日は評価事業の選定と評価の方法をご議論いただきたい。

2 会議の公開・会議録の公表について（確認）

〔異議なし〕

3 議事

(1) 評価事業の選定について

■委員長 行政側から提示された事業では、委員の皆さんが選定した中で数の多いものを評価するというので良いか。

委員が選定する事業では、票にばらつきがあり、最多のものでも2票である。

そこで、次のことを選定の基準としてはどうか。

昨年度は12事業を評価した。これは当初10事業の予定から12事業となったもの。

本年度も12事業を評価したらどうか。行政提案から5事業を選定し、市民提案として7事業を選定する。6つの柱の中から一つずつ、さらにもう一つ恵那市全域に関わる、あるいは重要な事業を選んだらどうか。

■委員 委員長は恵那市全体に関わる事業と言われたが、事業一覧を見るとあまりにも地域に偏った事業がある。旧恵那市にはこのような事業は無い。

合併してからかなりの年月がたっている。私はあえて地域に偏った事業について選定した。

■委員長 各委員それぞれ選定理由があると思うので、順次ご意見を伺いたい。

■委員 私は、自分の住んでいる地域に関わる事業を選定した。

全体に関わる事業となるとよく分からない。地域の事業でも全体に関係することもある。

まずは自分の興味あるところから選んだらどうか。

■委員 これから先も評価していくのなら、今回は2票選ばれたものを優先的に評価したらどうか。

■委員 たくさんの事業の中から選ぶのに困った。まずは、自分の身近な事業、関わりのある事業を選んだ。

■委員 合併したことを考えれば、地域の事業や全体の事業もあるので、バランスをとって委員の意見を集約して決めていけばよい。

■委員 旧恵那市に住んでいるものとするれば「あれっ？」と思うサービスがある。地元の方は当たり前と思っていても全体からみれば偏っている。そういう市民感覚で評価することが大切だと思うので、全体に関わる事業にこだわって選ばなくてもよいと思う。

■委員 私も事業選定に苦慮した。合併し、恵南では各々の振興事務所で公の施設の維持管理もしている。一方、旧恵那市の振興事務所では事務が本庁に集約されている。恵南の振興事務所の振興課ではそれぞれの事務があり、全体では0.0何パーセントの事務かもしれないが、このままのサービスを続けていけば、いつまでたっても振興事務所の振興課は存在することとなる。全体の視線で見れば、配置とか効果が評価できるけれども、0.0何パーセントの事務しか行っていない課だけでみると他の効果が見れないと思う。また、敬老事業一つとっても、これからも対象者が増えて、私の地域でも75歳以上の老人が入るところが無くなってしまう。今回の選定には苦慮した。

■オブザーバー 委員長さんの言われるアッパー12事業と、全市的に関わる事業ということですが、皆さんが選ばれた事業を数えると58事業あった。

そのうち2人の票が重なった事業が4つある。これをまず優先し、残りは応援演説か、金額の大きいものか、または事務事業成果表で「C」がついた事業を選ぶなど、いろいろ考えた。

せっかく皆さんが選ぶ事業なので、ぜひこれは。という事業を応援演説で選ぶということかどうか。

■委員 私も事業選定で迷った。最後は「エイヤー」でサイコロでも振って決めようとも思った。最終的に決める基準にしたのは、将来に向けて市の行政に何か役にたつような事業、今評価して良かったというような事業は何かという観点を持って選んだ。

それぞれの意見があり違うのも当然であるので、アドバイザーがおっしゃるように、たまたま2人が選んだものを優先して決め、残り2つは、一つの方法として、グループで分けて決めたらどうか。

■委員長 各委員からのご意見ありがとうございました。

2人の選定があった事業は、「1. 健やかで若さあふれる元気なまち」の柱では、保育園通園バス運営事業。「2. 豊かな自然と調和した安全なまち」では、空き家バンク事業。「4. 活力と創造性あふれる魅力あるまち」では、日本大正村施設整備事業。「5. 思いやりと文化を育む人づくりのまち」では、食育の推進。以上4つの事業。

以上の4つの事業は6本の柱の中にそれぞれあり、2人の方が選定されたということで決定してよろしいか。

[異議なし]

それでは、この4つの事業は決定させていただく。

残りの2事業は、残り2本の柱の中からそれぞれ1つずつ決めたい。決め方としては、先ほど副委員長からご意見のあったように、グループに分かれて決めていきたい。今日みえるメンバーが半分に分かれていただき、小委員会を作って事業選定をお願いします。

[2つのグループに分かれて選定会議]

■委員長 それぞれのグループで検討いただいた結果を確認をさせていただく。

「3. 快適に暮らせる便利で美しいまち」では、市民協働作業原材料支給事業。「6. 健全で心の通った協働のまち」では、NPO支援・育成事業。

全部で7事業選定するという事だったので、「1. 健やかで若さあふれる元気なまち」の柱の中から、子ども福祉医療費助成事業を選定したい。

行政提案の事業は、皆さんが選定下さったなかから数の多いものから順に5つ選ぶということによいか。

[異議なし]

それでは順に、一番票の多かった、サンホールくしはら自主運営事業、サンホールくしはら管理運営事業が9票、続いて恵那CATV管理運営事業と放送運営事業が8票、恵那市少年消防隊育成事業が7票、木造住宅耐震改修費補助事業が6票。従って、以上の5つの事業が票の多い事業ということで決定したい。

(2) 評価の方法について

■委員長 続いて、議事(2) 評価の方法について事務局から説明をお願いします。

[事務局から資料に基づき説明]

■委員長 ただいま、評価の仕方について説明いただいた。昨年場合は、評価の結果が自ずと高い評価に誘導されるようになっていた。事業の必要性は高く「A」としてみても、そのやり方や進捗状況が「B」や「C」だった場合がある。それを「A」に近付けるためにどういう問題があるのか。どういう工夫があるのか。ということ、この評価委員会で提起していくことが必要ではないか。こういうことでないと評価する意味が無いのではないかと、こうした点も踏まえ今年記号で表現するのではなく、むしろ記述的に表記したらどうか。ということであるが、ご意見は無いか。

■オブザーバー 確かに去年の例で具体的にいうと、ゴミ処理なんかは必要性は高い。やらなければいけない事業だが、ただ、そのやり方やシステムでいいのかという問題があった。公共性は高いけれども効率性は悪いのではないかと、それを一緒にしてしまうとどちらか分からなくなってしまう。ということ事務局が問題意識し、それを分けたということ。たぶんほとんどの事業は公共性はあるのだけれども、効率性が悪い事業はたくさんある。それをいかに改善、改革にもっていくか。ということに軸足をもちたい。ということが背景にあったのではないかと。

■委員長 今後、現地視察や各事業のヒアリングを受け評価していくことになる。非常に暑い時期になるが皆さんよろしくお願ひしたい。

4 その他 次回開催予定日について

■事務局 次回の開催予定について、事務局としては8月中にヒアリングと現地視察を2日間の日程をかけて行いたいと考えている。ご協力をお願いします。

■委員長 今わかっている段階で8月の都合の悪い日を教えていただきたい。

[各委員から日程を伺い調整]

■委員長 調整の結果、8月1日（水）と8月24日（金）に決定させていただく。
よろしく申し上げます。

■委員 NPO支援事業が評価対象事業となったが、私はNPOの関係者なので、こういう場合は何か取り決めがあるか？

■委員長 関係団体の関係者であるものは、議会とかで議決を要するものとか、そういうことなら控えることがあるが、この委員会は言いたいことをやったり、言ったりする場所である。委員長としては、そのことが評価の不公平につながるとは思っていないので、そういう立場を前提として評価していただければよい。

■オブザーバー ヒアリングでは、質問をして担当課に説明をしてもらうことになるが、事前に質問をしていただければ、担当課も改革・改善のヒントにつながる。

■委員長 8/1と8/24の行程表の提示をお願いします。昨年は一定のヒアリングを受け、担当する課が質問に対する答弁をしていなかった。企画部長が総合して回答していたが、今回はヒアリングの中で担当課が答弁できるようにしておいていただくようお願いする。

■副委員長 担当課の説明では、市の職員が市民に分かりやすく説明していただく。そういうことを含めて、評価の視点、「公共性」「公平性」「有効性」「効率性」の4つの視点から説明をしていただきたい。

市民評価というのはなかなかユニークであり、それぞれの評価委員の知識、能力の範囲内でやるものであるので、気楽に話ができるよう臨んでいただきたい。

以上をもって、第2回の市民評価委員会を閉会する。今日は、お疲れ様でした。

[閉 会]